

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2022年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、小学生については「1回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が2回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。

2. アスリートビブスは胸と背に必ず規定のものを各自で用意し、糸又は安全ピンで取り付ける。
また、トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に各自で用意した腰ナンバー標識を付ける。

3. 競技場への入場等について

【競技者】※競技者の入場は7：00からとする。

競技場内への入場及び退場はすべて動物園側ゲートを使用する。朝の入場は所属団体ごとにコーチ及び引率者と一緒に入場する。その際、HPからダウンロードした体調管理チェックシート（別様式のものでも可）の提出は求めないが、必ず記録して学校・クラブチームの代表（顧問）が集約し、保管すること。

【保護者】

競技場への入場及び退場はすべて動物園側ゲートを使用する。入場の際には、観戦者入場票の提出を義務付ける。（大会本部では準備しないので「保護者入場票」を事前にHPからダウンロードし、記入して持参することをお勧めします）。観覧席はメインスタンドのみとする。

【共 通】

- ・メインスタンドの中央の通路より上段は選手、下段は観戦者を基本とする。
- ・トイレはスタンド両端に設置されている場所、または2階観客用トイレを使用する。メインスタンド内のトイレは使用できない。また、正面入り口から場内に入場することはできない。（緊急時を除く）

【記録等】

記録掲示板を用いての記録等の表示は行わない。各種目の3位までの得点を発表する。それ以外は、アスリートランキングで確認する。

4. 選手の招集について

- ・招集完了時刻までに競技者係（トラックはスタート地点、フィールドは競技場所）で自分の名前と所属名を知らせ、アスリートビブスを見せる。トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に腰ナンバー標識を付ける。（腰ナンバーは各校・各所属団体で準備すること）
- ・招集開始時間と完了時間、競技開始時刻は以下の通り。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	15分前	10分前
フィールド競技	30分前	20分前

- ・事前にHPやアスリートランキングでタイムテーブルを確認して遅れないようにすること。点呼に遅れると失格となるので注意すること。招集が終わったら審判員の指示に従うこと。

5. 朝の競技場練習は、7：00～8：30までとする。なお、競技中は、バックストレートを開放するが400mの競技中は、競技に支障がないように注意して行う。（この日、野球場で試合があるための措置）

6. テントは、競技場内芝生部分に設営すること。
7. 選手の荷物を自分でスタート地点に取りに行く際、ゴール後バックストレート側を通って戻ること。
8. プログラムに記載間違いがあったら本部に早めに申し出ること。
9. レーン、試技順はプログラムの番号順とする。
10. プログラムは配布しないので、事前に組・レーンを各校・各所属団体で確認しておくこと。
11. フィールド競技（走高跳、走幅跳、砲丸投）
 - (1) 三種競技Aの走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候などの状況によって変更することもある）
 - 【男子三種競技A：走高跳】
練習1m10 試技1m15から5cm上げとする。（1m40から3cm上げ）
 - 【女子三種競技A：走高跳】
練習1m00 試技1m05から5cm上げとする。（1m30から3cm上げ）
 - (2) 走幅跳、砲丸投の試技は、それぞれ2回ずつとする。※走高跳は、3回とする。
12. 競技に使う用器具は、すべて競技場に備え付けのものを使用する。
13. 新型コロナ感染拡大防止予防について
 - ・大会要項を確認の上、参加願います。
14. その他
 - (1) 選手は本部前席前を通らないこと。
 - (2)トラックを横断する時は、事故のないよう、十分気を付けること。
 - (3) 主催者は応急処置のみ行う。
 - (4) 主催者側で消毒用アルコールを用意するが、参加者自身も持参することを推奨する。
 - (5) ゴミ類はすべて持ち帰ること。
 - (6) 一般の方の駐車場は動物園駐車場を使用する。
※競技場内の駐車場は札幌陸協登録の競技役員のみとする。

※出場時には《【大会前用】体調管理チェックシート》の記録が義務付けられる。事前に札幌陸協のHPの「大会前の体調管理チェックについて」の要領に従って実施して下さい。

※感染症対策のため、選手、競技役員、引率者等、来場者全員がマスクを着用する。観客席においては十分な間

隔を取って着席すること。大きな声を出しての応援はできない。また、運動時以外はマスクを着用すること。